

【資料2】

正蓮寺川・六軒家川環境整備推進協議会

# 正蓮寺川公園の アート公園化について

～万博のレガシーをここに～

令和4年8月

此花区役所

# 将来的な此花区の集客力

## 1 2025年 大阪・関西万博の開催

- ・ 夢洲に約2,800万人の来園見込み

## 2 2024年 ユニバーサル・スタジオ・ジャパンで新エリア開園予定

- ・ さらに多くの来園者が見込まれる

## 3 ユニバーサルシティ 駅周辺の開発

- ・ 舟運、水辺遊歩空間が整備予定

## 4 IRが夢洲に完成予定

- ・ 国内外から毎年約2,000万人が訪れる見込み

2

### 【説明】

- ・ 此花区の夢洲において、2025年日本国際博覧会（以下「大阪・関西万博」という）が開催され、国内外から約2,800万人が訪れると見込まれている。
- ・ 2024年には、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン（以下「USJ」という）に新エリアが開園予定である。また、ユニバーサルシティ 駅周辺の臨海部においては、大阪・関西万博開催に向けて水辺のエリアの整備が予定されており、さらに将来的には夢洲でのIR（統合型リゾート）の開発が予定されているなど、非常に多くの観光客が訪れると見込まれている。

## 正蓮寺川公園へのアクセスについて



### 【説明】

- 正蓮寺川・六軒家川環境整備推進協議会（以下「正六協」という）の尽力により、埋立や環境整備が進み、現在も順次拡張工事が進められている正蓮寺川公園を、環境学習ができる場として整備し、万博のレガシーを未来社会へつなぐ。
- 正蓮寺川公園はSDGsとの親和性もあり、夢洲やUSJからも近く、西九条駅から徒歩圏内という立地ポテンシャルのある場所である。
- 夢洲やUSJなどを訪れる観光客にも万博のレガシーを感じてもらうためには、正蓮寺川公園に足を運んでもらう必要があり、その結果まちの賑わいが創出される。
- しかし、観光客にとって、アクセス性や環境整備に取り組んだ経緯のある大規模公園というだけでは、積極的に足を運ぶ要因とはなり得ず、更なる魅力創出が必要である。

## 正蓮寺川公園のアート公園化



### 【説明】

- 此花区役所としては、区民の皆様と有識者等の意見をお聞きしながら、正蓮寺川公園に本格的なアート作品を展示すること（＝「アート公園化」）を推進する。
- アート公園を実現することで、万博のまちにふさわしい、また、子どもたちにも親しまれ、多くの人々が訪れ「ワクワクドキドキ」するような魅力を創出する。
- かつて産廃の島と言われた瀬戸内の直島は、アクセスが悪いにもかかわらず、現在はアートの島として、毎年多くの観光客が訪れている。正蓮寺川公園をアート公園化することで、将来的に多くの観光客が訪れ、万博のレガシーを感じ、賑わいのあるまちをめざす。

# アート公園のイメージ

## 1 1作目のイメージ

- 万博のレガシーにふさわしい作品
- トリガーとして万博を象徴する作品を区役所主体でいつでも観られる状態にする
- 此花区内に立ち寄る人たちが増える

## 2 将来的には累計100作品程度を

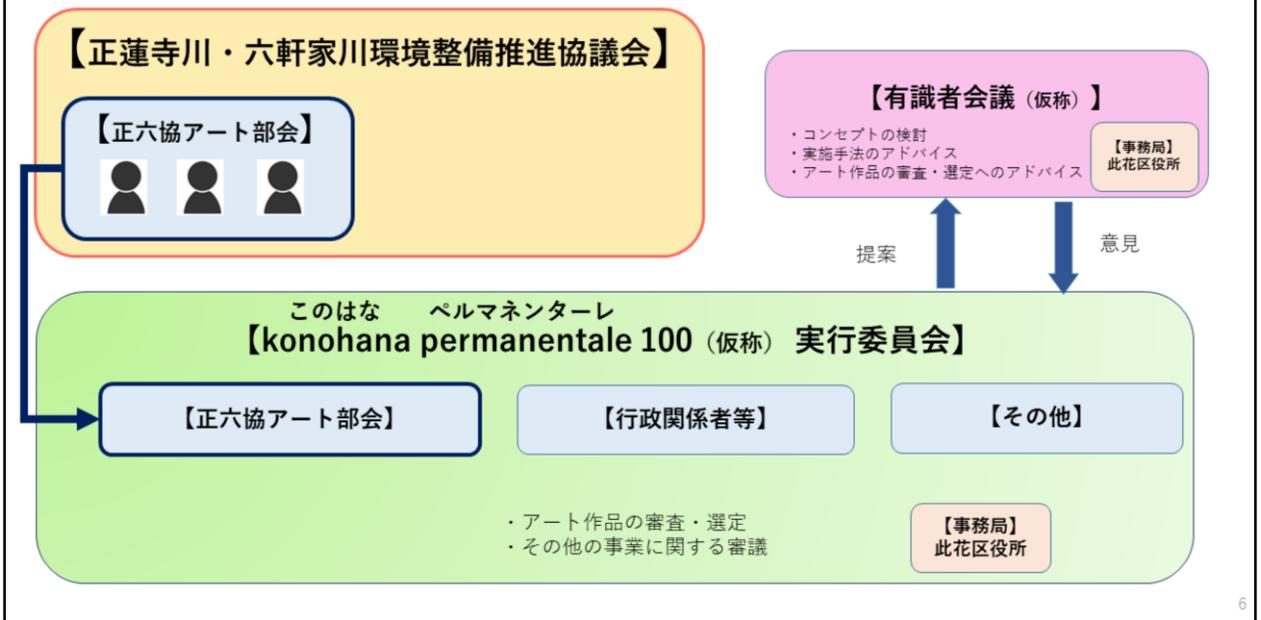
- 将来的には企業や団体等から協賛を得てアート作品が増える動きへ
- 此花区制100周年（2025年）も念頭に

5

### 【説明】

- アート作品について、1作目が特に重要であり、万博のレガシーにふさわしい作品の常設について検討が必要である。
- 将来的には、企業や団体等からの協賛を得て、100作品の常設をめざす。
- 1作目をトリガーに順次作品を増設していくには、此花区民の理解のもと長期の取組となることから、確かな仕組みのもとで実施していく必要がある。

# 此花区内のアートの盛り上げが期待できる仕組みづくり



## 【今回の議案について】

1. 正蓮寺川公園において、アート展示を推進する。
2. 正六協の下にアート部会を設置する。
3. アート部会の部会長は、正六協会長とし、会長の指名する3名程度の委員をもって構成する。
4. アート公園化に向け  
このはな ペルマネンターレ（常設の芸術祭を意味する造語）  
「konohana permanentele 100（仮称）実行委員会」  
（以下「実行委員会」という）を立ち上げる。
5. アート部会のメンバーは、実行委員会に参画する